

■連携の拠点の取組について

対象地域		豊中市
実施主体	連携の拠点	豊中市、豊中市医師会
	市町村医介連携事業 (委託先)	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会、 豊中市訪問看護ステーション連絡会

(1) 令和6年度の取組実績

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	------------------------	-------------------	------------	------------

- ① 豊中市在宅医療連携会議（10/9、3/19）：持続可能な在宅医療提供体制を推進するため、連携の拠点、積極的医療機関および在宅医グループが意見交換等を行い連携強化することを目的として設置。会議では、今後の取組方針や積極的医療機関および在宅医グループの窓口として在宅医療拠点コーディネーターを配置すること等が決まった。
- ② 医療・介護・地域資源ナビの更新に向けた調査（10月実施）
- ①③ 入退院・入退所連携支援WG会議：介護施設入所者の急変時における医療機関との情報連携について検討（7/9、9/10、11/26、1/14、3/25）
- ④ 多職種研修会「第25回green lab 2025」の開催（2/1）（講演内容：「豊中市の在宅医療行政について」他）
ACPスキルアップ研修会（生活圏域別研修（11/2・13・19）、全体講演会（3/29））、在宅医療・介護スキルアップ研修（3/5）
- ⑤ 市民向け講演会「人生会議の日イベント」（11/30）
地域住民向け講座（11/17、2/15、3/15）：テーマ「医療・介護職による介護の準備講座 初めての介護～介護の準備どうすればいいの？～」
市公式SNSによる情報発信

(2) 令和6年度の取り組みを通じた課題

- 連携の拠点として市と市医師会が密に連携し、積極的医療機関および在宅医グループが今後の医療需要増大の一つの受け皿として機能するように、具体的なルールを検討・構築する必要がある。
- 医療・介護の複合的ニーズを有する高齢者の増加を見据え、医療・介護関係者の相互理解と協力体制の構築が課題である。

(3) 令和7年度の取組計画

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	------------------------	-------------------	------------	------------

- ① 豊中市在宅医療連携会議（3回/年）：在宅医療拠点コーディネーターの配置など在宅復帰・通院困難時等患者の受入手順の整備、R8年度の本格実施に向けて試行実施
- ② 在宅人工呼吸器使用者に対する非常用電源の貸出に関する共通マニュアル策定（4-10月）
医療・介護・地域資源ナビの更新に向けた調査（10月頃）
- ①③ 入退院・入退所連携支援WG会議（4回/年）：介護施設入所者の急変時における医療機関との情報連携について検討
- ④ 多職種研修会「green lab」（3回/年）、介護施設で働く職員に向けた救急搬送時対応の研修会（1回/年）、ACPスキルアップ研修（1回/年）、
医療・介護スキルアップ研修（1回/年）
- ⑤ 地域住民向け講座（2回/年）、とよなか市民健康展でのACPに関する展示（11/30）
市公式SNSによる定期的な情報発信

(4) 令和7年度の進捗状況

- ① 豊中市在宅医療連携会議を7/9に開催。在宅医療拠点コーディネーターの配置など在宅復帰・通院困難時等患者の受入手順について検討。12月～3月に試行実施の予定。
- ② 非常用電源貸出について市と積極的医療機関が共通マニュアルを作成。在宅人工呼吸器使用患者へ周知を行い、10月から貸出開始。
医療・介護・地域資源ナビの更新に向けた調査は準備中。
- ③ 入退院・入退所連携支援WG会議において「救急搬送時情報シート」、「情報シートの使い方」を作成。周知方法や介護従事者向け研修会の企画立案。会議は、7/1、9/9に開催。
- ④ 介護施設で働く職員に向けた救急搬送時の対応に関する研修会を2/24に開催予定。
多職種研修会「green lab」を4/26、7/5に実施、次回は1/24に開催予定。
- ⑤ 地域住民向け講座は2・3月開催予定。ACPに関する展示は11/30のとよなか市民健康展で行う予定。
市公式SNSによる定期的な情報発信。

■連携の拠点の取組について

対象地域		吹田市
実施主体	連携の拠点	吹田市（健康医療部 保健医療総務室）
	市町村医介連携事業（委託先）	吹田市（福祉部 高齢福祉室）

(1) 令和6年度の取組実績

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	------------------------	-------------------	------------	------------

- ①地域医療推進懇談会 2回（1月、3月）
- ②在宅医療に関する地域資源の把握
- ③地域医療推進懇談会 2回（1月、3月）
- ④人生会議における意思決定支援のため、私の思い記入シート（市作成）の活用手引きや活用方法等を伝えた研修の動画を、医療介護関係者向けにホームページ上で公開している
- ⑤地域医療推進市民シンポジウム（10月）、かかりつけ医・人生会議の啓発、市民向け出前講座

(2) 令和6年度の 取り組みを 通じた課題

- ①③グループ診療等の在宅医同士の連携のあり方や、病院医師や看護師と在宅医や訪問看護師等との切れ目ない連携、在宅医と在宅医療を支える病院（在支病や後方支援病院等）の連携促進などについて、具体的な議論の進め方が難しい。
- ④市民が人生の最終段階において自身が望む最期を送ることができるよう、多職種連携を行いながら、適切な意思決定支援を行える医療介護関係者の人材育成が必要となっている。

(3) 令和7年度の取組計画

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	------------------------	-------------------	------------	------------

- ①地域医療推進懇談会 2回（8月、12月頃）
- ②在宅医療に関する実態調査（市内医療機関対象）、在宅医療に関する地域資源の把握
- ③地域医療推進懇談会 2回（8月、12月頃）、吹田市在宅医交流会（10月）
- ④医療・介護関係者を対象とした人生会議における意思決定支援に関する研修（2月）
- ⑤地域医療推進市民講演会（11月）、かかりつけ医・人生会議の啓発、市民向け出前講座

(4) 令和7年度の 進捗状況

- ①地域医療推進懇談会を開催し、在宅医療推進における課題の抽出等を行った上で、具体的な対応等について議論している。令和7年度は、急変時の入院調整を円滑にするため、市内病院の空床情報を共有する仕組み等の検討を行っている。
- ②3年に一度、在宅医療に関する調査を実施している。令和7年度は330の医療機関を対象に調査を行った。また、定例業務として、在宅医療に関する地域資源を抽出、把握している。さらに、入退院支援の実情について、市内病院にヒアリングを実施。
- ③令和6年度の会議（①）において在宅医同士の連携体制構築が必要と議論があったため、吹田市医師会の協力を得て、医師会員及び同非会員の訪問診療医の顔の見える関係づくりを目的とした在宅医交流会を開催。また、在宅療養患者の急変時に活用できる病院機能に関する資料や市内病院の受入れ窓口一覧を作成し、訪問診療医に情報提供を行う。
- ④人生会議における意思決定支援の充実のため、医療関係者を対象とした研修の開催を検討中。
- ⑤看取りをテーマに市民の体験談も含めた市民向け講演会を開催。定員400名。Youtubeで後日配信予定。

■連携の拠点の取組について

対象地域		箕面市
実施主体	連携の拠点	箕面市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	箕面市健康福祉部地域包括ケア室（箕面市医師会）

(1) 令和6年度の取組実績

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
①2ヶ月に1回、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、地域包括支援センター、介護支援専門員等が参加する在宅医療推進事業運営委員会を開催し、地域や病院それぞれの担当者から現状報告し、困りごとを共有している。また、在宅医療を支える連携体制等の課題や多職種連携研修会の議題内容などについて検討している。				
②地域資源の把握については、各種資料を改訂し発行 関係機関との連携については、多職種連携研修会を3回開催。 第1回：6/13 心臓血管疾患の予防のための基礎知識（73名参加） 第2回：9/11 在宅医療と栄養ケア（68名参加） 第3回：12/7 救急現場での現状と救急活動プロトコル改訂について（46名参加）				
③在宅医療講演会：10/12 在宅医療介護におけるBCP（事業継続計画）について（82名参加）				
④多職種連携研修会については、②のとおり				
⑤市民公開講座 3/1 人生会議(ACP)って何？肺がん診断後2年半で亡くなった息子とのACPを経験して（75名参加）				

(2)

令和6年度の取り組みを通じた課題

在宅医療・介護連携推進事業では、多職種間の連携強化や地域資源情報の周知に取り組んでいる。今後は、研修会参加者のさらなる拡大や、現場での実践状況の把握、研修会参加者アンケート等の実施によるニーズの把握ができるのではないかと考えている。また、研修テーマ設定においても多様な視点を取り入れ、現場の声を反映させることで、より効果的な事業推進が期待される。

(3) 令和7年度の取組計画

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
①在宅医療推進事業運営委員会において、在宅医療の状況把握、今年度の事業運営における課題検討（2ヶ月に1回） 参加者：医師会・歯科医師会・薬剤師会・市立病院・訪問看護ステーション連絡会・ケアマネ連絡会・包括・市・保健所				
②地域資源の把握：箕面市認知症相談マップ・医療マップ、在宅医療ハンドブック別冊（在宅医療関連施設一覧）の発行 関係機関との連携：多職種連携研修会にて支援者向け講座の開催（年3回）				
③市内医療機関との連携会議（1月頃）、地域医療・福祉連絡会（3月頃）				
④多職種連携研修会にて支援者向け講座を開催（年3回）、在宅医療講演会（年1回） ⑤市民公開講座を開催予定（年1回）、ACPハンドブック・ACPパンフレットの発行				

(4)

令和7年度の進捗状況

①2ヶ月に1回在宅医療推進事業運営委員会を開催し、地域や病院それぞれの担当者から現状報告し、困りごとを共有している。また、在宅医療を支える連携体制等の課題や多職種連携研修会の議題内容などについて検討している。
②地域資源の把握については、各種資料を改訂し発行
関係機関との連携については、多職種連携研修会を2回開催済。
第1回：6/11 高齢者における口腔ケアの大切さ（68名参加）
第2回：9/4 薬剤師による在宅訪問とこれからの調剤薬局（51名参加）
第3回：12月頃予定（内容未定）
④多職種連携研修会については、②のとおり
在宅医療講演会は10/18開催予定 テーマ「在宅医療多職種で行う地域の災害対策、広域での災害対策（Home medical assistance team）の実践」
⑤市民公開講座は令和8年3月に開催予定。（内容未定）

■連携の拠点の取組について

対象地域		池田市 豊能町 能勢町
実施主体	連携の拠点	池田市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	池田市医師会

(1) 令和6年度の取組実績

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	------------------------	-------------------	------------	------------

- ①「在宅医療に関する説明会」、「在宅医療委員会」の開催
- ②在宅医療（在宅酸素療法や麻薬投与、ストーマの処理管理等）のアンケート調査を実施し、医療機関を地域別に検索できるサイトを医師会ホームページに掲載する
- ④「心肺停止傷病者に対する救急隊の活動」研修会

(2)

令和6年度の取り組みを通じた課題

「在宅医療委員会」は情報交換の他に訪問診療連携について継続的に協議し、システムを構築する必要性がある。

(3) 令和7年度の取組計画

①会議の開催	②地域の資源の把握・ 関係機関との調整	③急変時対応等の 体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
--------	------------------------	-------------------	------------	------------

- ①「在宅医療委員会」の開催
- ②在宅医療（在宅酸素療法や麻薬投与、ストーマの処理管理等）のアンケート調査を実施し、医療機関を地域別に検索できるサイトを医師会ホームページに掲載する
- ④「地域医療連携支援病院の取り組みと地域（在宅）医療連携」研修会
- ④「慢性期病院の現状と地域連携、地域における栄養ケア」研修会

(4)

令和7年度の進捗状況

①第1回在宅医療委員会を開催（7月18日）し、急変時の対応や看取りの現状について情報交換及び訪問診療連携システムの検討を行った。システムについては、会員にアンケートを取り意見集約し第2回（12月予定）在宅医療委員会で協議予定。
 ②11月に圏域医療機関に対してR7年度調査を実施予定。R8年1月に池田市医師会ホームページに掲載予定。
 ④地域医療連携支援病院の取り組みと地域（在宅）医療連携研修会は、5月30日に開催し「市立池田病院の循環器ホットラインの取り組み」についての講演。市立池田病院職員4名と医師会員16名、市職員2名の参加があった。
 ④慢性期病院の現状と地域連携、地域における栄養ケア研修会は令和8年1月に照葉の里箕面病院職員、在宅栄養士会代表を講師に招き講演予定。